

校長室からのお知らせ

10月15日 NO.24

岸和田市立山直北小学校
校長 尾野武志

お座りください⇒× おかけください⇒○

日本語は、世界から見ても習得するのがかなり難しいと言われる言語になるそうです。平仮名にカタカナに漢字とあり、漢字にも草書といわれる独特の書体がありますので、日本語の文字だけでも覚えたいと思っても、この時点で大多数の人が無理かなと考えるようです。さらに、言葉の意味を覚えるだけでなく、日本語の曖昧な表現方法や敬語の使用方法等の日本人でも自信が持てない部分を身につけようと思うと、日々の努力の積み重ねと果てしない時間の注ぎ込みを覚悟しなければいけないと予想できますので、習得することを敬遠される言語であるのは仕方がないと納得してしまいます。

さて、特に習得するのが難しい原因の一つである敬語には、いまだに苦しまされています。実は、大きく書いた「お座りください。」は、とても失礼な表現になるそうです。校長室に来られたお客さまに「こんにちは。どうぞ、お座りください。」と言ってしまった記憶がよみがえり、とても焦っています。「お座り」という言葉は、飼い主が犬に命じる代名詞になりますので、丁寧に伝えたつもりでも、お客さまをペット扱いしていると思われるのも仕方がないと説明が書かれており、本当に申し訳ないと深く反省しています。

正しくは「おかけください。」になるそうで、今後は気をつけます。もし、校長室で私から「お座りください。」が出た場合、「失礼ですよ。」とご指導いただきますようお願いいたします。

他にも失礼な敬語として、「なるほどです。」や「了解です。」が紹介されていました。「なるほどです。」は、感情を示す感嘆詞の一つであったり、同意の意味があったりするので、失礼になるそうです。「おっしゃる通りです。」や「さようでございますか。」が正しい敬語になるようです。

「了解です。」も、事情が分かって許可するという意味があり、上から目線の言葉になるため、失礼な敬語になるそうです。「承知しました。」が無難で間違いがない敬語だと説明されていました。

相手の申し出に対して「大丈夫です。」や「全然、大丈夫です。」もよく聞くようになりましたが、これも失礼な敬語になります。気をつけます。